

令和元年6月5日

言葉だより No.3 (第370号)

轍

みなさんは、コブクロの「轍^{わだち}」という曲を覚えていますか。この曲は、私が前任校で担任をしていたときの学年主任の先生が大好きだった曲で、学年集会でも何度か流され、その学年のイメージソングになっていました。その先生が転任されるときには、学年全員で送別会を開き、最後にこの曲を流しながら花道を作ってお送りした思い出の曲です。

曲名の「轍」とは、知っているとおり、車が通った後に残る車輪の跡のことで、誰かが通った跡という意味です。

「眠れないほど悩んで 見えた答えがあるなら
君さえ知らない君を 見つける旅に出かけようよ
轍さえもない道をただ進め」

自分で悩んで決めた道なら、たとえ誰かが通った跡のない道であっても、勇気を持って自分の手で道を切り開いて進んでいけ！今まで気付かなかった自分の適性や能力を見つけにいこう！という応援ソングです。

「こんなに強い自分が いることに気付いたのは
この道が 誰でもない 自分で選んだ道だから」

みなさんは、家族や先生、友人など、いろいろな人と相談しながら進路を決めていくと思います。でも、最後に決めるのは自分自身でなければいけません。先生が勧めたから…とか、自分は本当は他のことがしたかったのに…、と人任せにしてしまう部分が少しでもあると、思うようにいかなかったときに、責任を他に回して逃げ道を作ってしまう。でも、自分が決めたことだからという自覚があれば、たとえ思い通りにならなくても我慢することができるし、挫折するようなことがあっても、そこでくじけずに立ち上がることができます。その強さは、他の誰でもない自分で選んだ道だから生まれてくるものです。

先輩と同じ道を進むのも一つの進路ですが、自分の人生だから、誰かが開いてくれた扉を安易に通り返けるのではなく、自分で決めて自分でその扉を開いて通り抜けていこうという強い意志と勇気を持って頑張っていってほしいと思います。

「開いた扉 通り抜けても
それじゃ強くなれやしないよ
閉じた扉 タタキつぶしてゆこう
君の未来のほうへ」